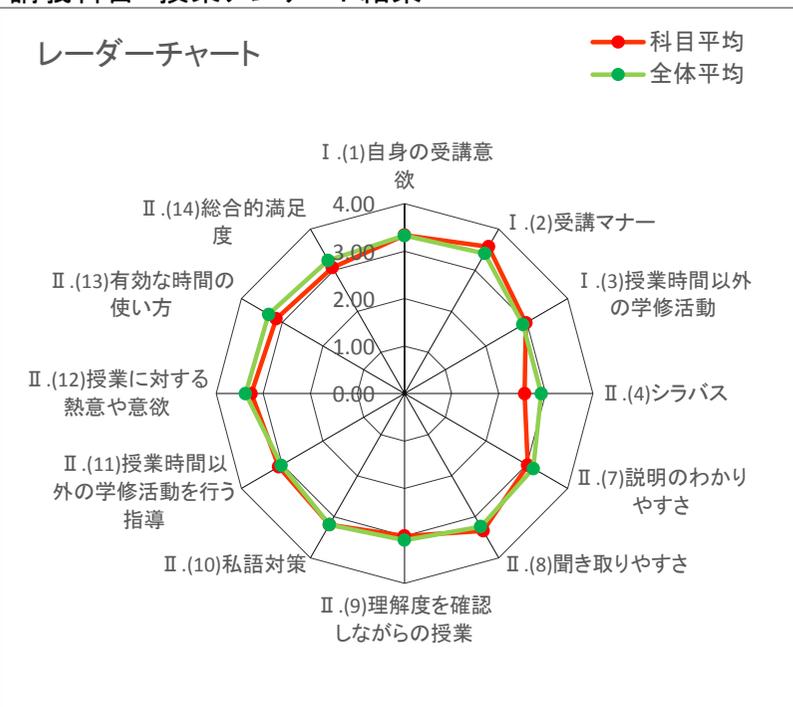
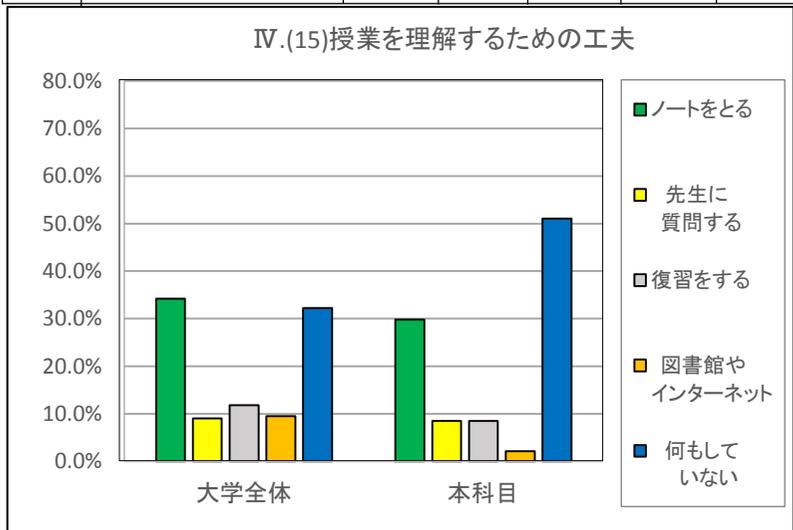


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	29.8%	8.5%	8.5%	2.1%	51.1%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	21104
科目名	生活の理解
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.34	3.33
	I.(2)	3.57	3.41
	I.(3)	2.98	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.55	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.02	3.16
	II.(8)	3.34	3.24
	II.(9)	3.00	3.09
	II.(10)	3.19	3.19
	II.(11)	3.09	3.03
	II.(12)	3.26	3.38
	II.(13)	3.15	3.33
	満足度	II.(14)	3.06

①授業計画の達成度について
 授業計画では、①「遊びから学びへ」と②「学校生活への理解」の2つのユニットに分けて実施した。①「遊びから学びへ」へのユニットでは、体験活動を通して教材研究を行った。フィールドビンゴゲーム、コマ回し体験、シャボン玉づくり、紙飛行機づくりである。学生の成果物から、体験から学び得る知についての理解は深まったと思われる。

②授業の進め方について
 ①「遊びから学びへ」では、実際に小学校生活科にて取り扱う学習材をもとに、体験学習を数多く取り入れた。②「学校生活への理解」では、パワーポイントや映像を用いて具体物を提示や、学生からの全ての質問に対し徹底的に答える姿勢を見せるなど、学生の学習意欲を高めるにはどうすればよいかを考え、講義を行った。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.30	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.07	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.06	3.24
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 受講後の学生アンケートでは、「授業中において発表の機会が豊富にあること」、「昔遊びやしぼん玉作りなど、実体験を通して学べたことがよかった」、「生活の理解の授業を通して、児童の心理面についても学ぶことができた」との感想があった。今後も学生の学びを深めるために授業の工夫をし続けたい。